2025年 プログラム近況報告
エクアドル　プンガラ地域開発プログラム
温かいご支援をありがとうございます



チャイルド・スポンサーの皆さま、いつも温かいご支援をありがとうございます。皆さまのご支援により、プンガラ地域の子どもたちは未来への可能性を広げ、子どもの権利を享受し、夢を追いかけることができています。



ギジェルモ・レオン・メヒア
プンガラ
地域開発プログラムマネージャー

ご支援によって、チャイルドや地域の人々に

1,017

子どもへの暴力をなくすために、1,017人の子どもが、自分たちにとって有害な行いや慣習（体罰、家庭内暴力、児童婚など）に反対し、声を上げるなどの行動を起こしました。

234

1～3年生の子ども234人が識字プログラムに参加し、読み書きの能力が向上しました。

エクアドル　：　日本

出典：国連開発計画（UNDP）、国連児童基金（ユニセフ）、世界銀行　2022年 世界保健機関（WHO）　2024年

18歳未満の女子1,000人あたりの出生数		深刻な栄養不良の5歳未満児の割合		前期中等教育を修了した25歳以上の女性の割合	
63.2	2.9	22.7%	5%	54.1%	98.2%

チャイルド・スポンサーシップは、途上国の子どもの健やかな成長のために、子どもを取り巻く環境を改善する長期的な支援を行います。地域の状況に応じて水衛生、保健、栄養、教育、生計の改善に取り組んでいます。



「高校を卒業した後、ぼくは将来の目標を見い出せず、どうしたらよいか分からずにいました。そんなときに、青少年を対象としたライフ・スキル研修に参加して、自分の持つ能力を知ることができました。今ではエンジニアになって、家族を支えたいと思っています」
ローランドくん、15歳（右端）

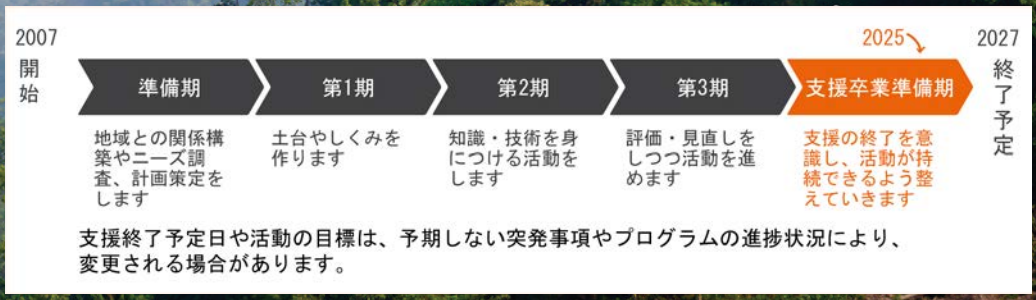
大きな変化がもたらされています

244

極度の貧困状態にある家庭244世帯が研修に参加し、安定した収入を得るための方法などを学びました。貧困から抜け出すための特別なサポートを受けています。

353

353人の保護者が、子どもの権利を尊重した、体罰をしない子育ての方法を学び、子どもたちを虐待から守れるようになりました。



「学校の勉強に自信が持てました」



「ぼくの学校では勉強のサポートをあまりしてもらえず、勉強が苦手なぼくは、自分に自信が持てなくなっていました」。そう話すのは、11歳のアンディくん（左から2番目）です。「教材を買うこともできなかったので、本を読んだり物語を理解したりすることが難しかったです」

チャイルド・スポンサーの皆さまのご支援により、アンディくんの地域では識字プログラムが導入され、教師を対象にした研修やワークショップを通して、子どもたちが楽しみながら効果的に学べるような工夫がなされるようになりました。このプログラムによって、アンディくんをはじめ多くの子どもたちが、読み書きの能力を向上させることができました。

「今では、自信をもって学べるようになりました」とアンディくん。「将来の夢は、ぼくと同じように悩んでいる子どもたちの勉強を手助けすることです」



チャイルドの最新情報や写真・動画を見られる
「マイ チャイルド」および
登録情報の変更など、各種お手続きができる
「マイ ワールド・ビジョン」はこちらから

World Vision

ご支援により、子どもたちを取り巻く環境が改善されています

エクアドル　プンガラ地域開発プログラム（ECU-190632）

2024年度（2023年10月1日～2024年9月30日）

会計報告

プログラム支援額	（単位：円）
チャイルド・スポンサーシップ当期支援額	40,878,048
前期からの繰越額	1,340,777
プログラム支援額合計	42,218,825

プログラム支出額	
子どもの発達プロジェクト	14,024,354
子どもの保護プロジェクト	12,950,196
スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト	15,071,540
プログラム支出額合計	42,046,090
次期繰越額	172,735

活動内容

子どもの発達プロジェクト

- 子どもや青少年・若者の読解力の強化
- 青少年へのライフ・スキル教育
- 乳幼児の発達に関する保護者への研修

子どもの保護プロジェクト

- 子どもや女性の権利についての啓発活動
- 地域における子どもの保護の仕組みの強化
- 社会活動のための青少年や若者のネットワークの強化
- 体罰を使わない教育に関する保護者への研修

スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト

- 手紙や成長報告を通したチャイルドとの交流
- チャイルドの定期的なモニタリング
- 「子どもを中心とした開発」についての啓発活動

*ライフ・スキルとは、問題解決、対人関係、計画性など、生きていく上で必要な知識・技術のこと。

お問い合わせ
特定非営利活動法人　ワールド・ビジョン・ジャパン
TEL：03-5334-5351
Eメール：dservice@worldvision.or.jp
ホームページ：www.worldvision.jp